

## 白浜レスキューネットワーク通信 3月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&amp;FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail [yabiumi@gmail.com](mailto:yabiumi@gmail.com)

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
 白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

3月1日～3月31日

電話件数 255 件

メール相談 4 人

保護件数 4 件(男性 1 名、女性 3 名)

帰宅件数 3 件(女性 3 名)

○14日、女性を保護。

○16日、2月18日に保護した女性が、気持ちの整理もつき家に帰った。約1か月、毎日畑仕事をしながら、スタッフの青田さんと話をして帰宅を決めた。

○24日、女性を保護。3月31日に帰宅。現在大学生なので、勉強をつづけながら、長い休みは白浜に帰っておいでと話した。生まれた時から施設で育ち、頼れる親はいない。ずっと抛り所的な役割を果たせたらと考えている。

○28日、女性を保護。

○高校生の子どもを預かることに。4月から始める予定の通信制の高校に転校希望。寮生活をしながら親元を離れて高校生活をすることに。親御さんと本人、私たちが話し合っただけで決めた。

### 生活自立支援活動

3月1日～3月31日

滞在者数 16 人(男性 12 人、女性 4 人)

自立者数 1 名(男性 1 名)

自主退所 1 名(男性 1 名)

○10月に保護した80代女性は、裁縫や手芸など趣味も豊富で、アンさんの子どもたちへの活動で、お手玉や絵葉書や小物づくりなど手伝ってくれている。

○高卒卒業資格を取ろうとしている20代男性は、仕事でも勉強でも意欲的に取り組んでいる。

○コンビニとまちなかキッチンで働く20代女

性は、コンビニで言い寄ってくる男性ができ、オーナーからその男性客に迷惑だと話してもらった。

○デイサービスに週3回行き、ヘルパーがほぼ毎日入っている80歳の男性は、元気に過ごしている。

○タクシーの運転手になった男性は、コロナウイルスの影響もあり、観光客が少なく、かなり暇なようだ。休みの日にファミマのバイトに入るようになった。

○糖尿病を患っている男性は、ついに岐阜県の工場に就職が決まった。26日、就職先へと出発した。定年後、白浜に帰っただけと話した。

○まちなかキッチンでの訓練に集中することになった男性は、写真を撮ることが好きで、よく散歩に行っただけで写メをSNSにアップしている。

○共同生活3年になる男性は、まちなかキッチンでは中心メンバーとしての自覚が出てきた。

○共同生活に加わって一年経つ女性は、むさしの午後からの仕事にも入り始めた。

○7月初めから共同生活に加わっている男性は、自身の課題を話しているときに、急に怒り、出て行くと言い出して出て行った。和歌山市内の路上生活者支援の団体が持つアパートで生活保護の申請をしたということだ。

○5月から滞在し脳神経外科を受診している男性は、進展なし。

○70代女性が骨肉腫で入院が続いている。週3回輸血している。

○40代男性は、まちなかキッチンで一時間の洗い物の仕事から始めた。

○先月ホテルで働き始めた40代の男性は、初給料を手にした。毎月お金の管理をしながら貯

めていくことに合意。

○昨年10月に近所のアパートに引っ越してきた女性は、何かお手伝いしたい気持ちがある。ただ、人との関りに問題があり、発言に責任が持てない以上、なにも手伝ってもらうことはできないと話している。

○2月から滞在し始めた高校生は、まちなかキッチンで職業訓練を始めた。働きながら学費と寮費を稼いで、自力で高校を卒業しようと話している。

### 自殺予防活動

#### ・相談電話

4日、11日、18日、25日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

#### ・少年少女漂流隊とはじめ人間自然塾はコロナウイルスの影響で中止。

小中高等学校が3月から休校になった。

#### ・放課後クラブ・コペルくん

学童保育と同じ扱いで、連日、朝から夕方まで子供を7人ほど預かった。アンさんが対応。

23日から、ネムさんがスタッフとして加わった。

#### 4月からコペル自由学校を開校

#### 英語クラス